

# 2025年日本平和大会実行委員会ニュースno.1



発行:2025年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2025/1/30  
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

## 今年の平和大会は、10/25-26 in 愛知

29日午後、全労連会議室で2025年日本平和大会の第1回実行委員会が開催されました。19年大会以来のリアル参加を含めた実行委員会には、11団体16人と開催県・愛知実行委が参加。大会の大枠と「成功のよびかけ」等が確認されました。



はじめに東森安保破棄中央実行委事務局長が開会あいさつをし、千坂日本平和委事務局長が諸提案を行い、矢野愛知県平和委事務局長が現地の準備状況を報告しました。東森氏のあいさつの大要は以下の通りです。

2年越しの要請で、愛知にて10月25,26日に開くことになりました。愛知の皆さんはすでに1年にわたり受け入れ協議と準備に取り組んでいただいています。

衆議院で与党が少数となる新しい情勢が生まれました。改憲勢力が3分の2を下回り、改憲発議ができない状態になったことも重要。自公の多数を頼んだ強行ができなくなり、選択的夫婦別姓実現、社会保障充実やマイナ保険証問題、最低賃金引上げなどの運動も広がり、たたかいかいのある状況です。

しかし、自民党は「企業献金禁止は憲法違反」と居直り、金権政治を続けようとしています。そのため、一部野党を取り込んで、予算や法律の成立をはかろうとしています。

このような状況のもと、私たちの運動を高めることなくして、大軍拡路線の転換をはじめ平和や暮らしの基本的な要求は前進しません。「戦争国家」づくりに反対し、憲法に基づく平和外交を進めていくため、基本的な要求を前進させる市民の運動を広げ、政治をめぐるたたかいに反映させる必要があります。

もう1つは、世界の動きとの関係です。世界での戦火が収まらず、依然として核兵器使用の危険をはらんだ事態が続いている中で、日本被団協のノーベル平和賞受賞は、核兵器廃絶と戦争のない世界を求める国際世論を反映したものであり、私たちの運動を励ますものです。

こうした中で「アメリカ・ファースト」を掲げるトランプ政権が発足し、特に各国の軍事費についてトランプ氏は、NATO加盟国に対しては各国のGDP比で、現行目標の2%を5%に引き上げるべきだと発言し、次期国防次官に指名されたエルブリッジ・コルビー氏は「日本の防衛費を3%にするのが望ましい」と述べており、私たちに新たな運動が求められます。

今年は戦後・被爆80年。参院選があり、情勢によっては総選挙の可能性も。対米従属路線のもとで憲法に背く政治を進め、戦争への道を歩む政治を転換する年にしましょう。

### 今年の大会の大枠 \*プレ企画はオンライン

■ **プレ企画** 参加団体の持ち味を生かした多彩なテーマによる企画(オンライン)

■ **本大会** 10月25-26日(名古屋市内) \*24日午後、オプション企画を予定

25日 13時～ 開会集会

16時半～ 学びと交流のつどい(愛知から見る平和の今)

26日 9時～ 分科会 \*開始時間等は会場条件で変更あり

13時半～ 閉会集会、パレード

★★次回実行委員会 3月7日15時～